

## ハイライト:

- 私たちの活動が評価され、大きな賞をいただきました
- グリップキャンペーンでは多くの会員が活躍しました
- 花育活動は県下で多くの会員が携わりました
- 勤マルの日は企業のボランティア体験者を受け入れました

## 「ユニバーサル都市・福岡賞」を受賞しました！！

私たち「園芸福祉ふくおかネット」は、去る10月27日福岡市役所講堂で行われた表彰式で、高島宗一郎市長より「ユニバーサル都市・福岡賞2013（みんながやさしい部門）」の優秀賞をいただきました。

この賞は福岡市が今年設立した賞で、「ユニバーサル都市・福岡」の考え方を広く市民に伝えるために、ユニバーサルデザインの考えに方に基づく優れた取り組みで継続性のある活動を行っている人や団体を表彰する制度です。

私たちの受賞理由は、

- 園芸を通して、障がい者や高齢者など多様な人々が一緒に楽しく取り組むことが出来る。

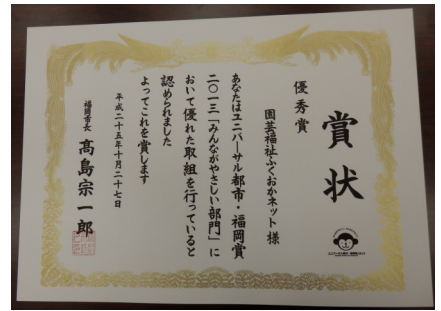
「グリーンノート」No91掲載[(公財)福岡市緑のまちづくり協会発行]を改稿

- 多様な人々を対象とした園芸活動を行っている団体はほかになく、多様な人々の自立と社会参加に寄与している。

というもので、前段はまさに「園芸福祉」の理念そのもの、さらに10年間にわたる私たちの色々な活動も高く評価され、とてもうれしく思います。

この賞にご推薦いただきました(公財)福岡市緑のまちづくり協会様に感謝いたしますとともに、受賞を糧にこれからも園芸福祉活動を地道に続けて行きたいと思ひます。

代表 山崎博子



市長表彰を受ける山崎代表(右)と黒瀬事務局長

## 目次:

グリップキャンペーン	2
勤マルの日	6
各地の花育活動	7
園芸福祉の庭から	9
寄稿	10
お知らせ 編集後記	12

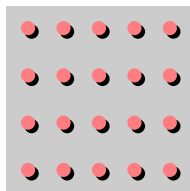
## 日本園芸福祉普及協会吉長理事長からお祝いのメールをいただきました。

ふくおかネットの皆さま  
 またしても快挙！！受賞、おめでとうございます！！  
 地道でそして豊かなふくおかネットの福祉活動が  
 このような形で認められたことは、  
 協会にとってもネットの会員個人としても誇りです。  
 「有難うございます」とお礼を申し上げたいほどです。  
 吉長成恭

他にも、岡本顧問をはじめ、多くの方々からお祝いのお言葉をいただき励まされました。紙面を借りてお礼を申し上げます。

代表 山崎博子

## グリッピーキャンペーン2013 “私の活動報告”



### 種でお絵かき

「グリッピーキャンペーン2013」では、幅広い皆さまの沢山のご協力により、「種でお絵描き」を大盛況で終えることが出来、心からお礼申し上げます。無料だったこともあり、予想以上の参加者で、大勢の子供たちに楽しんでもらえ、とてもよかったです。

会員の皆様の協力で集まった種のなかには、日頃目にする事の無い珍しいものもあり、良く知っている野菜や果物だけでなく「こんな樹にこんな種?!」という驚きや楽しさで、大人にも興味を持っていただけたのもイベントの収穫でした。

集まったそれぞれの種がどんな植物のものなのか表にして掲示しましたが、全部の植物を用意できなかったのが心残りです。少しずつでも資料を増やして次につなげたいと思いますので、どうぞよろしくご協力、ご指導をお願いいたします。

今回は、額縁なども用意し

て、長く飾ってもらえるものに、（ゴミにならないように！）出来たらいいなあと思いました。

お忙しい中、見本の絵を作ってきてくださった島添さん、珍しい木の実をいろいろ集めてくださった西川さん、たくさんの果物や野菜を食べて集めてくださった会員の皆様、台紙のダンボールを沢山切りそろえて用意してくださった松藤さんなど、強力な助っ人たちがスタッフに居てくださってすごく助かりました。ふくおかネット以外にもご協力いただき本当にありがとうございました。

文、作品：沖本 圓



種をさがす女の子とアドバイスする会員の沖本さん（中央）



台紙ではなく、植木鉢にデコレーション！

### 「グリッピーキャンペーン」って なに？

「グリッピーキャンペーン」とは、「福岡市都市緑化推進行事」の愛称で、2007年（平成19年）から、そのマスコットの名を冠してこう呼ばれている。それまでの「都市緑化月間」を中心に、集中的に行われていた緑化推進行事を、実行委員会事務局の主催行事と委員会参加団体の自主企画行事を通年で行うこととして展開されてきた。近年は「都市緑化月間」のメインイベントだけになったが、そこでも実行委員諸団体の自主性を生かしたさまざまな企画がおこなわれ、多くのボランティアや専門家団体が行政と共に活躍している。

「園芸福祉ふくおかネット」は当初からの実行委員として熱心に活動している。ここで取り上げた寄稿者以外も、他の諸団体の企画ブース内で、例年通り多くの会員が活躍している。

蛇足ながら愛称は委員会でも募集され、私の案が採用されました。（ドヤ顔！）

文責：西川直喜

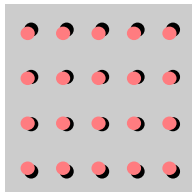


緑化マスコットのグリッピーと「種でお絵かき」する子供たち。

グリッピーはどこに行っても大歓迎!!



## グリッピーキャンペーン2013 “私の活動報告”



グリッピーの杖の先端に重なる見本作品、出来合いを買っていく人もいた。



### 緑のミニぷらんこ

グリッピーキャンペーンのテントで多肉植物を使ったワークショップをしました。

卵の殻に植え込んだ小さなみどりの飾り物です。それを吊るしてぶらさげるためのワイヤーを、ラジオペンチでクルクル巻いて…。名付けて「緑のミニぷらんこ」。“表題”これが重要？だそうで、ブランコじゃなく“ぷらんこ”！誰が名付けたのかプラントとブランコを合体させたのだそうです。

材料は会員で用意しました。苗を育成した人、卵の殻を準備した人、ワイヤー工作は会場で、男性陣の大奮闘。となりのテーブルでの「種でお絵描き」のス

タッフと入れ替わり立ち代りで、てんやわんやです。

お客さんは、やってみたい！作りたい！という子供さんから大人まで、それぞれに楽しめたようで大好評でした。壊れやすい卵の殻を慎重に扱いながら、まだ作りたいと言う方が多かったのですが…材料の方が品切れ！！

次回から園芸福祉ふくおかネットの十八番にするそうで……。皆さんも是非、自宅で増えすぎた多肉植物などを小さなポットに挿し芽して提供してください。キャンペーンへの参加も宜しくお祈りしま～す。

松永加代子

### エコ鉢の寄せ植え体験講座

講座の場所は市役所1階ロビーです。西側広場で同時開催されている「環境フェスティバル」とのコラボ企画です。ここだけが屋内会場、展示パネルや柱などがあり、場所のわかりにくさが心配です。ミニシクラメンを私たちが準備し、「体験」される方がミニ観葉を屋外会場から持参しての植え込みです。指導は、園芸福祉の庭で一緒に活動している金澤さんと一緒に。彼女の指導で最初に「体験」された方は「環境フェスティバル」のボランティアさんで、「ここで作った作品を自分たちのブースに飾り、この場所を

教えてあげる！」と心強い応援です。

それが功を奏してか、用意していた材料もあっという間になくなり、寄せ植え講座も終了です。昨日、この場所で、「こけ玉作りの体験講座」を担当した二俣さんと坂口さん（二人も“庭”での活動仲間）のお手伝いもあり、終わってみれば、今日のために何度もエコ鉢を作り直して準備した事も忘れてしまうほどでした。

出来る人が出来ることを受け持ち、お互いを思いやる。それこそが「花と緑が人と人をつなぐ」を実感した一日でした。

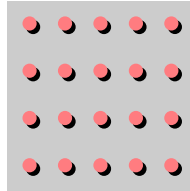
諸隈アサ子

### コケ玉体験講座

5年前に仕事を辞め何か出来ることがないかと探していた時に、市政だよりも、「月一回のボランティア活動」を見つけ、近いだけの理由で園芸福祉ふくおかネットに参加したのですが、想像していた事との違いに「いつ辞めようか」と迷っているうちに4年も過ぎてしまい、今では“九大病院・馬出フラワーボランティア”でも活動するようになりました。

10月19日のグリッピーキャンペーンでは「緑のコーディネーター体験講座」として「こけ玉講座」の催しがあり、1グルー

## グリッピーキャンペーン2013 “私の活動報告”



7名の前で指導することになりました。これまでもお手伝いとして参加したことはありましたが今回はちょっと不安でした。でも「園芸福祉の庭」でいつも一緒に活動している二俣さんと一緒にしたので助かったし、参加された皆さんが喜んで帰っていかれましたのでホットしました。材料がミニクラメンだったこともあり「もっと上手に説明すればよかったなあ」と反省することもありましたが、いろいろと勉強にもなりとてもよい経験になりました。

アンチエイジングのためにもまだまだいろんな事を学べる機会に出会えるとありがたいなあと思いつつ、いっそうやる気が出てきました。

坂口妙子



2010/福岡市植物園

2012年は、福岡市の中心地、天神中央公園で開催されることになりました。これまでの経験から、広い会場に展示するためには、ハンギングの容器も大きなものを使い、メリハリのある作品に仕上げた方が映えることを学びましたので、花が豪華なフォーチュンベゴニアを使って作ってみようと思いました。私にとっても初めての経験です。園芸店に行ってアドバイスもいただきました。試作品を何個も作り、会員の皆さんに作っていただくための指導方法も色々考えました。制作講座ですから、初めてハンギン

### 「ハンギングバスケットでお出迎え」を担当して

グリッピーキャンペーンで、ハンギングバスケットの制作講座、展示を担当させていただくようになって今年で5年目になりました。

最初の2009年は、グリッピーキャンペーンの会場がアイランドシティ中央公園でしたので、作品は、トンネルに見立てた「園芸福祉の庭」の入り口の外側に飾りました。

2010年の会場は、30周年を迎えた福岡市植物園に移りました。制作講座もさせていただき、養生や管理まで植物園の方がしてくださいました。

ちょうどその頃、福岡市のPRを2009/園芸福祉の庭兼ねて、ハウステンボスでハンギン



2010/ハウステンボス

グバスケットを展示するという話が持ち上がり、PRを担当されていた谷口さんのご配慮で、私たちの作った作品も、『ガーデニングワールドカップ』会場の沿道に飾っていただけになりました。ハウステンボスでの展示という大役を終えた私たちのハンギングバスケット

は、その後、植物園に設営されたメインステージのバックに飾っていただけました。

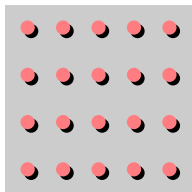
2011年、グリッピーキャンペーンの会場は、かつて全国都市緑化フェアが開催されたアイランドシティ中央公園に再び戻って来ましたので、今度は「園芸福祉の庭」の入り口の通路側に沿って飾り付けを行ないました。



2011/園芸福祉の庭



## グリップキャンペーン2013 “私の活動報告”



グを作る方もいらっしゃいます。初めてつくるハンギングが、大きな容器で、しかもフォーチュンベゴニアとは普通では考えられないことですが、プロの方々も作品を展示する会場で、堂々と私達が展示するには「この花しかない！」とさえ思いました。

制作講座の時、一人ひとりが本当に真剣で、一言も聞き漏らさないよう耳を傾けてくださり、とても丁寧に作ってくださいました。各自、自宅に一時持ち帰って管理も上手にしてくださいました。各自、自宅に一時持ち帰って管理も上手にしてくださいました。各自、自宅に一時持ち帰って管理も上手にしてくださいました。



2012/天神中央公園



テキなハンギングバスケットの展示ができました。

今年もフォーチュンベゴニアの作品を制作、展示しましたが、昨年の展示で学んだことを今回の作品作りに生かせるようにしました。制作に携わった会員の技術もよりレベルアップし、全体的に昨年よりも美しい作品に仕上がっていました。ハンギングバスケットマスターの方々からも「園芸福祉の人が作ったの?」「管理も自分達でしたの?」「すごい」「きれい」とお褒めの言葉をいただき、とても嬉しかったです。



2013/天神中央公園（上:全景 下:部分）

ハンギングバスケットの展示は、わずか2日間でしたが、この2日間のために心を遣い、大切に管理して下さったことが、作品に表れていました。天気を気にして置き場所をこまめに移動された方、日光にも十分当てられ水やりの管理も上手にできた方、



2013/天神中央公園（部分）

「留守をしていた間の水やりを家族に頼んでいたけれども、水のやり過ぎで1ヶ所花がダメになり、新たに苗を購入して作品を作り直しました。」という方までいらっしゃいました。

園芸店の方から「園芸福祉の人が、こんなにも展示作品を大切にされているなんて思いませんでした」と言われた時には、本当に誇らしい気持ちになりました。

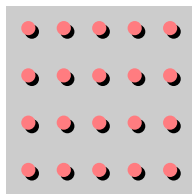
ハンギングバスケットの展示に協力して下さった会員の皆さまの、一人ひとりの作品展示に対する熱い思いが結果を出し、美しい花を咲かせてくれたのだと思います。お陰様で、多くの方の目を楽しませ、プロの方からも「きれいでした」と言っていただけ展示になりました。園芸福祉ふくおかネットは本当に素晴らしいです。ありがとうございました。



黒瀬 恵子 9月29日、園芸福祉の庭の定例活動後に作品を作製したメンバー



## 「勤マルの日」に企業のボランティア体験者受け入れ



### 『勤マルの日』

11月9日“園芸福祉の庭”で「勤マルの日」参加の企業ボランティア体験者を受け入れました。例年通り、この日、福岡ネットの会員はいくつかの会場に分散しますので、今年は、井上、沖本、黒瀬、坂口、島添、各氏と西川の6人の精鋭(?)による作業指導を行いました。

普段、会員のそれぞれは、拠点毎に活動日を調整しているので、それぞれに人手は確保できるのですが、この日は全拠点で一斉に行われるので、やりくりが結構大変なのです。(グリッピーキャンペーンの日も同じですが…。)

さて、“庭”では体験参加者を6グループに分け、班ごとに会員が一人付いて、5つのテーマ花壇と「竹のドーム」で作業してもらいました。今回は参加企業が3社だったので、班分けすると混成グループが出来るのが気になったのですが、そんなことは何も気にすることなく、何組かの親子連れや上司との組み合わせになった方など、27人それぞれに楽しんでいらっしやるようでした。

「視覚障がい者の人と一緒に愉しむ花壇」では、始めて見るラムズイヤー、カレープランツなどに声を弾ませ、「高齢者と一緒に愉しむ花壇」では、小さな花をつけたイソギクに興味を示し、「車椅子の人とも愉しむ花壇」では、立ったままでできる花壇作業に集中して時間をすごしていただけたようです。

「子供たちと愉しむ花壇」で、小学生の男の子が母親と会話しながら苗を植え込んで、お父さんがビデオに納める、という光景も微笑ましいものでした。

これに先立つ3日前、幼稚園児による「花育活動」でチューリップやビオラなどを植え込みましたが、今日の分を見越して配置していましたので、その隙間を利用した作業となりました。

「勤マルの日」担当：西川直喜

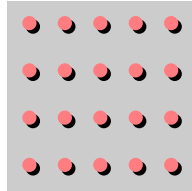


「勤マルの日」とは、福岡県下において平成16年から2年間実施された「仕事と生活の調和」を促進する、「厚生労働省・勤労者マルチライフ支援事業」を継承し、勤労者などが気軽にボランティア活動に親しむ機会を提供する日です。今年は、県下16の会場で1241名が参加、実施された。福岡県経営者協会を、当日本部としNPOふくおか、福岡市社会福祉協議会が実行委員会を務める。

(同チラシ抜粋加筆)



福岡県花あふれるふくおか推進協議会  
「花育活動」で活躍する  
園芸福祉ふくおかネット



## 園芸福祉の庭で「花育活動」

アイランド中央公園内園芸福祉の庭  
園児30名・春の花植え

11月6日、年長さんを中心に3つの保育園から30名の園児が、東区アイランドシティ中央公園での「花育活動」に参加してくれました。「花育活動」とは福岡県農林水産部園芸振興課にある「花あふれるふくおか推進協議会」が、県内で行われる活動を支援するものです。

「鉢に土を入れて、とんがっている方を上にして植えてくださいね。」

まずは、家に持ち帰り用の“マイ鉢”に、チューリップの球根を5個、少し寂しいのでその中心にビロウの花を植えました。みんな記念写真を撮りました。



「みんな疲れていませんか？」という問いかけに「疲れていません、元気でーす！」という大きな声。

「じゃー、次は公園に来られる方のために、花壇に花を植えましょう。みんなよろこんでくれますよ。」と、花壇の一部にピ

オラやアリッサムを植えました。

「みんなも公園に遊びに来た時は、『お花さん元気になりますか?』と声をかけてくださいね。」などとやりとりしながら楽しい時間をすごしました。

一つのことを持続するのに15分～20分が限度と聞いていたので、2つのことを飽

きずにやれるかな、と心配しましたが、チビッコ達は、私たちの心配をよそに、シャベルで穴を掘ったり、鉢に土を入れたり、目を輝かせて花植えに取り組んでくれました。



山崎博子

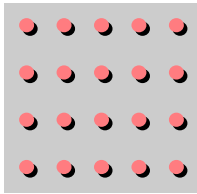


花育活動は本文でも触れたように、福岡県が支援する教育的活動です。

本号で取り上げた拠点以外でも那珂川町の 恵子（エコ）児童館では、会員の井上妙子さんが毎年、子供たちに園芸指導しておられます。



## 福岡県花あふれるふくおか推進協議会 「花育活動」で活躍する 園芸福祉ふくおかネット



### 筑後特別支援学校での「花育活動」

久留米でもがんばってま〜す。定例会議、花壇の手入れを第4土曜日福岡県緑化センター（田主丸町）で月一回行っております。今年は7名のメンバーのそれぞれに家庭の事情もあり定期的に集まることが出来なくて、都合のつく日を調整して3、4人集まっております。緑化センター内のモデルガーデンづくりも今回で4回目ですが、草取り、手入れ、水遣りなど思うように出来ないところは、センターの方に頼り切っています。

さて、福岡県(花あふれるふくおか推進協議会)の「花育活動」ということで、10月28日に、山崎久美子さん、平山政子さんと、栗木の3人で、今回

も「筑後特別支援学校」に行きました。当日までには学校側と数回の話し合いをもち、生徒さんに怪我が無いようにいろいろと注意事項を詰め、当日を迎え、「きれいね〜」と想像しただけの場所にと、学校の寄宿舎の玄関前にある花壇を整備しました。

生徒が学校から戻ってくるのが3時過ぎ、作業前の仕事をしていると「ただいま〜」という声、「お帰り〜」と返す声、とってもいい光景です。

食堂で、先生から私たちの紹介があり感激しました。生徒さんを前に作業手順をボードに書いて説明、注意事項なども伝えて花壇へ移動、初年度

は紐を張るなどいろいろ工夫して植えておりましたが、今年はそのようなこともなく、出来上がった花壇はいろいろな色があつてとてもきれいで、50人余りの力作の花壇が出来上がりました。

うれしいことに、女の子が「去年も一緒に植えたヨ」と声を掛けてくれたのです。花を通して『命の大切さ・仲間作り・声かけ』などをお願いして作業は終わりました。

毎回いろいろな方と出会い、「いい体験」をさせていただいております。

来年も花育活動に参加したいと思います。ありがとうございました。

久留米市田主丸 栗木トシ子

### 平成25年度「花育活動」古賀市立青柳小学校

11月1日(金)午後2時より、古賀市立青柳小学校で、教頭先生、担当の先生とともに、5・6年生環境委員会の子ども20名で、校庭3カ所の花壇に、沢山のチューリップやムスカリの球根と、ガーデンシクラメンにキンギョソウ、ナデシコ、アリッサムなどにぎやかな植込をしました。

子どもたちは、チューリップなどの球根の深さや間隔など一つ一つ注意しながら、また球根の上に彩るアリッサムの場所などを気使しながら、丁寧に植えました。

主になる花壇はみんなの集まる校舎の中庭に位置し、円形の花壇で、春の卒業、入学の時期に子どもたちを和ませてくれる場所にあります。最後のあいさつで、「深さなど細かい植え込みの方法は良い勉強になりました。」と、先生のお言葉をいただきました。

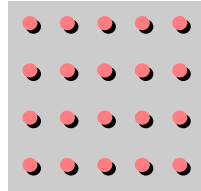
ふくおかネットからはわれわれ夫婦と横大路さんが参加しました。

古賀市 青崎安孝





“園芸福祉の庭から”



花壇更新は大変でした！

9月の定例活動は、29日、夏の湯水で荒れた植物の整理をしました。この日のメインイベントは午後からのハンギングバスケット作りです。そのため、午前中の作業を抜けて準備に当たった人もいました。車椅子対応花壇のマツバボタンはまだ元気でしたので、来月まで咲き続けることを期待して処分せずにおき、湯水の尾を引いて湯き気味だった花壇部分に水やりをしました。



午後から行ったハンギングバスケット作り実習は、講師の黒瀬さんが苦

労して買い集めてくださった花苗を見ると、花材だけで十分に素晴らしいもので、実習の参加者は、花に負けないように真剣に作り込みました。

10月の定例活動日は27日でした。先月残しておいた花を撤去し、11月の「花育活動」「勤マルの日」のために、“春花壇”の土作りをしました。園芸福祉の庭の花壇は、長年の手入れの甲斐あって“良い土”になっていますので、土起こしが楽にでき、少量の土壌改良剤兼元肥を鋤込んで、来月に備えました。掘りあげたマツバボタンの一部は、来年のために養生、育成するべく、みんなで少しずつ持ち帰りました



11月は前述の2つのイベントがあり、「花育活動」の幼児たちが植えたビオラや球根の間に、「勤マルの日」のアリッサムなどを植えてもらっていたので、各花壇ともそれなりに落ち着いており、24日の定例活動日は気楽に構えていたのですが、

「花苗購入の融通が付いたので…」と、たくさんの苗が持ち込まれ、「どうやって植え込もうか？」と慌てました。

みんなで知恵を出し合って、こんもりと茂ったエアプランツを深く刈り込み、植え込み場所を作ったり、植えたばかりのチューリップの球根を丁寧に移動させたり、ダブルデッカーで植え込んだりして、キンギョソウなどを植えました。「冬の間は少しさびしくなるなあ」と思っていた場所に、ハボタンやシクラメンなどが加わり、“冬もキレイ”な花壇になりました。



午後からは、小春日和のもと「赤米を使ったしめ縄作り」を行い、栗木さんの、軽妙なしゃべくり講座で作品作りを楽しみました。

園芸福祉の庭担当：西川直喜



「園芸福祉の庭」定例活動のお知らせ

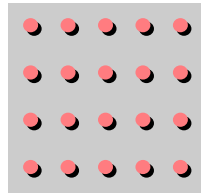
毎月最終日曜日10:00から庭の手入れや作業をしています。（少雨決行）多くの方の参加を待ちます。

- 12月はお休みです。次回は1月26日です。





寄稿 ♪ 紅葉の景と花飾り、  
心は錦に微笑む ♪



東平尾公園の球技場「レベルファイブスタジアム」の南側の樹林の中に20年ほど前、湧水を引き込んだ石組みの池を囲むようにもみじを植え込んだ庭造りにかかわった。この庭には、カワセミなどの野鳥も多く飛来するので、写真を撮る人も早朝から日暮れまでシャッターチャンスをうかがっておられる。初冬、木々の紅葉が織り成す景はとても美しく、心が感動色に染まる。この景色を楽しみに遠方から訪れる人も少なくない。



東平尾公園あたりは、どこも紅葉がきれい、街路樹のモミジバフウ（アメリカフウ）やナンキンハゼ、



園内にはサクラ、ケヤキ、イチヨ

ウ、コリノキ、ニシキギ、ドウダンツツジ、樹林のハゼ、クヌギやコナラなどなど。これらはクス、シイやカシ、クロガネモチ、タブなどの常緑樹をバックに映え、初冬の陽光に照り、いっそう輝く。

多くの方々に是非お楽しみ頂きたいおすすめの景観です。

わたしは園芸福祉ふくおかネットでハンギングバスケットづくりを何度か体験し、その楽しみ方がだんだん膨らんできている。

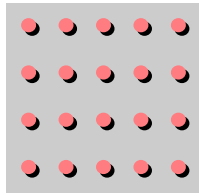
顧みるとハウステンボスの第一回ガーデニングワールドカップ会場の沿道30mにコンテナとバスケットを福岡市のPR展示を担当して以来、福岡市植物園ではステージに花を沿え、九州新幹線全線開業を祝う「福博花しるべ」でハンギングバスケットコンテストを企画実施。

その後JR博多シティー、国営海の中道海浜公園でもコンテストが開催されるようになり、街を花で飾り、和やかで美しい景観づくりが少しずつではあるが確実に浸透してきていることがとても嬉しい。

近年、制作した作品を校区の文化祭会場の入り口にウェルカムフラワーとして展示したり、



## 寄稿♪ 紅葉の景と花飾り、 心は錦に微笑む ♪



氏子代表を務める天降神社の入学や七五三の祈願祭でも記念写真撮影スポットとして飾り、参詣される方に喜んでいただく楽しみも味わっている。先月は古賀市の農産物直売所コスモス広場花卉部会の主催で、ハンギング



バスケットマスターの黒瀬恵子先生を講師に迎え、ハンギングバスケット教室を開催されることになり、参加者募集用のサンプルを展示するラティスを玄関前中央に利用者様に危なくないように竹を加工して設置し、黒瀬先生の作品を飾った。



教室では直売所のお客様、花卉生産者、フラワーデザイナーや園芸店経営者など20名が5月まで楽しめる作品づくりを体験された。カリキュラムのなかで、最初にアイビーを鉢から抜いて、根がらみを解いて3本に分ける作業があり、講師の鮮やかな手さばきに見入っていた皆さんも一心に取り組みれ、会場がひとつになった。流石、多くの指導経験から工夫されたテクニックだなーと感服。

教室に参加した人は、「講師の説明がとても丁寧でよく理解でき、参加して良かったー、とても楽しかったです。」と大変好評。役員さんも「ハンギングバスケットがあまり知られてないようで定員になるか心配しましたが、実施して良かったー。」と喜んでおられた。

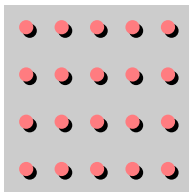


教室の様子を見てあったコスモス広場の篠崎組合長から「お客様にも見て頂けるように玄関の飾りは継続して下さい。」との申し入れがあり、黒瀬先生にお伝えしたところ、「嬉しい！がんばって葉ボタンを使った大きいバスケットを作ります。」とのこと。この展示用のために制作していただいたバスケットを飾っていると「ワーきれい、すてきー」と何人も笑顔で近寄ってこられた。

「皆さんに喜ばれる飾りにかかわることが出来て良かったなあ」と幸せを感じた。

緑に映える紅葉の景を眺め、花にかかわり、人々の笑顔と喜びの声を聞くと、心豊かに錦に染まるのを感じ、つい微笑んでしまう今日この頃です。

園芸福祉士 谷口 博隆



## 忘年会のご案内

- 日時 12月21日（土）17：00～19：00
- 会場 大名つつじ庵（あすみの斜め向い）  
・中央区大名2-9-2 福岡共栄火災ビル  
電話 **050-5796-9815**
- 会費 2,500円（3,500円飲み放題コース）

定例会後、みなさんと楽しく過ごしましょう。  
多くの方の参加をお待ちしています。  
参加ご希望の方は、予約の都合がありますので  
**12月17日（火）までに事務局（黒瀬）宛てに**  
メール、または電話でお申し込み下さい。

園芸福祉ふくおかネット事務局（黒瀬）  
メール [engeifukusi.fukuoka@hya.bbiq.jp](mailto:engeifukusi.fukuoka@hya.bbiq.jp)  
携帯電話 090-8626-1586

定例会は通常通り15：00より  
福岡市ボランティア交流センター「あすみん」  
で行ないます。



### 事務局からのお知らせ

会員のみなさまへ逸早い情報をお伝えするために、あなたのメールアドレスの登録をお願いします。  
携帯、パソコンから、「件名」にご自分のお名前だけ書いて事務局宛に送信してくだされば結構です。

また、事務局からのメールは、BCCで一斉配信しておりますので、**返信の際は、お名前を明記してください。**

**園芸福祉ふくおかネット事務局（黒瀬）**  
アドレス  
[engeifukusi.fukuoka@hya.bbiq.jp](mailto:engeifukusi.fukuoka@hya.bbiq.jp)  
黒瀬(携帯 090-8626-1586)

【編集後記】今号から編集を担当することになりました。前号までに比べ、色合いが地味になりました。前号まで担当された米倉さんは明るく華やかなまとめ方でしたが、今号は四角張っています。これは私の性格ではなく使用ソフトの特徴です。多くの会員の方に、名前だけでも登場してもらいたい、と思っていますので原稿作成だけでなく情報提供にもご協力をお願いします。 西川直喜



表彰状を囲んで、しめ縄実習のお披露目(2013.11.24園芸福祉の庭定例活動にて)

### ● 園芸福祉ふくおかネット事務局 ●

- ・ 電話(携帯)：090-8626-1586(黒瀬)
- ・ E-mail [engeifukusi.fukuoka@hya.bbiq.jp](mailto:engeifukusi.fukuoka@hya.bbiq.jp)
- ・ 〒810-0033 福岡市中央区小笹1-9-25
- ・ ネット通信 花便り 編集者 西川直喜